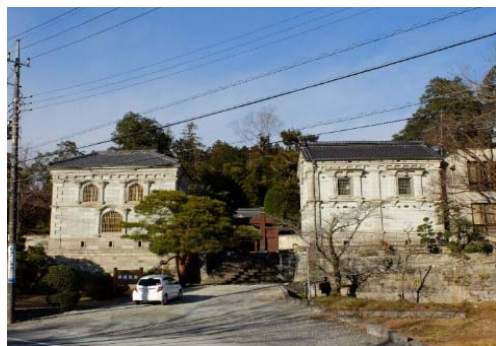


● 建築物・工作物

◎建築物又は外構の一部に大谷石を使用する。



○現存する大谷石の石蔵などの保全に努める。



○垣・柵・塀は、大谷石や木材など自然素材を使用したもの又は生垣とするよう努める。



⇒ 大谷石や木材といった自然素材を使用することで、住んでいる人が愛着を持ち、来訪者には宇都宮の風土を感じられる、大谷ならではの風景が展開される。

◎建築物等の屋根・外壁の色彩は、低明度・低彩度とする。



高明度



高彩度



⇒ 屋根・外壁の色彩を低明度・低彩度の落ち着いた色を基調とすることで、大谷石の岩肌や、自然の緑に調和したまちなみを形成する。

○大谷石建造物のライトアップにより、夜間も楽しめる景観の演出に努める。



○間接照明や温かみのある色の照明の使用に努める。



○投光器等による天空への照射は行わないようにする。



⇒ 大谷石の岩肌を引き立て、景観を浮き上がらせるような、光の演出を誘導することで、夜も歩いて楽しめる景観を創出し、観光拠点としての魅力を向上させる。

● 屋外広告物

◎屋外広告物に用いる色彩は、まちなみの中で過度に目立ちすぎないよう高彩度色の使用を避ける。



⇒ 大谷独自の色彩基準を定めることで、観光地に相応しい屋外広告物を誘導し、魅力ある景観を保全

◎広告物の面積・高さ等を規制する。



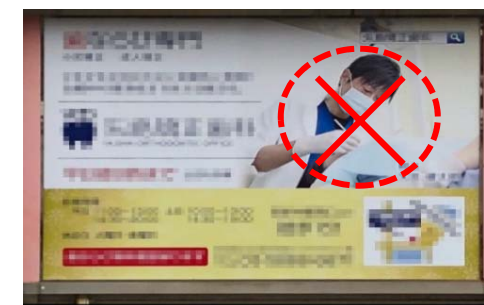
⇒ まちなみに調和した屋外広告物を誘導

◎屋上広告物は表示しない。



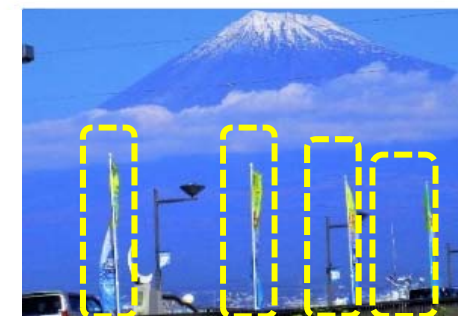
⇒ 遠方の山並みなどの眺望景観を保全

○広告物に人物の写真(その他人物の写真に類する画像)は使用しないよう努める。



⇒ 観光地としてのイメージを保全

○のぼり旗の相互間距離の確保に努める。



⇒ 遠方の山並みや大谷石のまちなみなどの眺望景観を保全

